

# 今後のラブホテルの空間演出として注目される デザイン性の高い多彩な種類の「鏡」を提供

(株)アルテジャパン

(株)アルテジャパン  
代表取締役専務  
坂 義臣氏



鏡は、各種の商業施設において、実用性だけでなく空間を演出するインテリアとしてさまざまに活用されている。もちろんラブホテルにとっても重要なアイテムだ。洗面や浴室には実用的な機能として不可欠であり、天井や壁面を鏡張りにするといった派手な演出は見られなくなったが、インテリアとして客室空間のイメージを左右する重要なアイテムとなっている。現在、どのような鏡が人気なのか、鏡を主力製品とするメーカーであり販売会社である(株)アルテジャパン・代表取締役専務・坂 義臣氏に話を伺った。

## 鏡の専門メーカーとして 幅広い分野で豊富な実績

ラブホテル分野でも、アルテジャパンの鏡を採用しているホテルは多い。同社が創業したのは1972年で、74年に現社名に変更。当初は、ガラスインテリアのメーカーとして天板がガラスで脚がパイプのガラステーブルを開発・販売し、爆発的に売れたという。しかし、低価格のコピー商品が出回るようになってしまった。

「そこでアメリカやベルギーのメーカーと提携して、『鏡』というニッチな部分に特化していった」という。そして、日本の大手ガラスメーカーとのパイプもでき、オリジナルミラーの製造・販売、さらに85年からはオリジナルのサイズ・デザインで施工まで対応するオーダーミラーの受注も開始した。オーダーミラーは、現場の細部のニーズに対応した鏡の設置ができることから現在も好評を得ている。

一方、既製品でも、多種多様なデザ

インの商品を市場に提供している。現在、鏡類は、デザインによって「クラシック」「カジュアル」「モダン」「ベーシック」と大きく5種類に区別され、さらにデザインを細分化すると、商品ラインナップは総計で約200にのぼる。

「設計デザイナーや経営者が希望に沿ったデザインの商品を手間を掛けずに見出せるように、ラインナップの充実を今後も図っていききたい。また、鏡は、空間に奥行きを与えたり、明るさを演出できるインテリアであり、多様な空間デザインに対応するうえでも、バリエーションの充実が必要だと思っています」と坂氏は語る。

## 「クラシック」が新しい 若年層の感覚を敏感にキャッチ

現在、同社の製品カテゴリの中で、とくに人気が高いのが「クラシック」タイプだ。18～19世紀のヨーロッパの香りが漂うフレームデザインで、高級感を求める中高年層だけでなく、若年層にも好評だという。

「客室内にクラシック調の鏡があると、いまの若い女性は『可愛い』と表現します。クラシックでフォーマルなデザインが、若者には落ち着いた印象よりも新鮮な印象を与えるようです。」

もちろん本物のアンティークの鏡は非常に高価であり、重厚な木製や金属



東京本社のショールーム。同社の主要製品約100点が展示されている



同社の主な新製品。フレームをウレタン樹脂成型にして価格を抑え軽量化を図った「クラシック」タイプの人気が高い。置き台とセットのコンソールタイプの需要も多く注力している

製のフレームがあると数十キロの重量となってしまいます。当然ながら、石膏ボードの壁面に取り付けるには補強も必要となる。同社のクラシックタイプの鏡は、フレームをウレタン樹脂成型品にして金箔や銅箔を塗装することで、デザインの魅力はそのままに価格を抑えると同時に軽量化を図ったものだ。

従来、クラシックタイプの鏡は、大きなホールなどの限定した場所に使われていたが、「軽量化とコストダウンにより使用できるシーンが増えました。若者層には新鮮さを、中高年層には高級感を感じさせるインテリアといえますから、ラブホテルにもお勧めしたい商品です」。同社では、今後、一般家庭でも使えるサイズやデザインの

クラシックタイプも開発していく考えだというから、鏡の最新トレンドとして注目したい。

また、同社は、ショールームにも力を入れている。「G-SPACE」の名称で東京、札幌、広島の3か所にショールームを開設。鏡の質感や実際の見た目は、カタログの写真だけではわかりにくいところもあるだけに、それを体感してほしいという配慮だ。各ショールームには同社のラインナップの代表的な製品が常設展示されている。「クラシックが新しい」という若者の感覚を体感するにも最適な空間といえよう。

※

2011年1月の風営法政令改正で類似ラブホテルの7割以上が4号営業に

移行した。いま4号営業に移行したホテルの多くが、4号営業だからできる演出や設備の強化に動きは始めている。そういった状況のなかで、改めて注目されているのが「鏡」である。かつての派手な鏡張りの客室ではなく、現代的な感性で鏡を活用し、ラブニーズの演出と同時に客室イメージもアップさせたいという経営者も多い。

アルテジャパンのラインナップは、そうした要望に応える強力なアイテムといえるだろう。

【問合せ】  
(株)アルテジャパン  
東京都新宿区納戸町7 LM 納戸町101  
TEL.03-3235-6211  
<http://www.arte-japan.com/>